
Grave of poetry(詩の墓)

敬愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Grave of poetry (詩の墓)

【Nコード】

N6552V

【作者名】

敬愛

【あらすじ】

この作品には自信を持っています。パクリだというご意見があるかもしれませんが。

しかし僕敬愛の紡ぐ言葉は何処かに詩を面白くしたい、世界を変えたいという意味みたいな物があり、感じ取って頂けると幸いです。

第二部はより歌詞に近い初音ミク用の歌詞候補です。まず初音にアカペラで歌わせるのが目標です。ハードル低いですね（笑）でも1万2千円は大金なんですよ。

Heart (前書き)

彼女は僕の事好きだったのに・・・。
いつの間にか心を閉ざしてしまった。
僕のせいだ。(というのは実話ではない。
)

H e a r t

君が閉ざしてしまった

心のドアを閉ざしてしまった

一体何があつたの？

返事は無い

生きた屍みたいに

生気の無い表情をして

家事もやらなくなつて

僕は辛いよ

一体何があつたの？

返事は無い

僕達熱烈な恋をして

結ばれたのにいつの間にか失われたパッション

きつと僕が悪いんだ そうやって被害妄想する僕が

きつと君はたまらなく嫌になつてしまつたんだ

気持ち悪くなつてしまつたんだ

今更遅いかもしれないけど君の心のドアをノックノック

答えが欲しいよ

今更遅いかもしれないけど君の心のカギをゲットゲット

声が聞きたいよ

どうしてこんな事になつてしまつたんだろう 嘆く僕が

きつと君は顔も見たくなくなつてしまつたんだ

部屋にずっとこもつて音楽を聴いている君

世界から隔絶されて　でも君は自分自身が隔離されているとは感じ
ていない

事実は結局僕が悪いと謝らなければとそう思っているけど
君は音楽が楽しくて僕の紡ぐ言葉なんてつまらないんだろう
アイシテルなんてこんな無力な言葉がこの世に存在していて
恋人達が囁き合って慰め合ってる

寂しいけれど僕は君の下から去りたい　でも去り難い気持ちが大き
すぎて

今更遅いかもしれないけど君の心のドアをノックノック
答えが欲しいよ
今更遅いかもしれないけど君の心のカギをゲットゲット
声が聞きたいよ

LOFTでボールありますか？と聞いてどのようなタイプがよろし
いですかと問われ
彼女の心をこじ開けられる物をと答えた

Heart (後書き)

え、この子のレベル？5段階あつたら1だね。
完全なる思い付きだから。

愛の前で（前書き）

遊助の「雄叫び」の曲で一応歌えます。

愛の前で

照らし出された灯りの元で
烈火の如くに舞い上がれ
一瞬の勝負 時代の寵児
愛の前でひざまづきて燃えればいい そうさ

人生は博打 壮大なる
一事が万事 全て包む
限界の厳戒態勢に突破仕掛ける
でかいトラック

危機の一髪 一步一步
一寸先は闇の中
種子の発芽 一個一個

照らし出された灯りの元で
氷柱の如くに突き刺され
一瞬の勝負 時代の寵児
愛の前でひざまづきて燃えればいい そうさ

気品の欠片も無い男が
逆手にとつて稼いでるんだ
そんなやり方溢れてるモダン
大きな声で間違い正せ

四面楚歌 背水の陣
敵しすぎるよ 我の道
前門の虎

行くぜ 飛ばして YEAH!YEAH!

照らし出された灯りの元で

烈火の如くに舞い上がれ

一瞬の勝負 時代の寵児

愛の前でひざまづきて燃えればいい そうさ

涙流してもいいよ 悲しい事あつたなら

そつと拭つてほしい 遠い遠い前を見て

心配ないからさ 勇気全部出せよ

OH!YEAH! 力込めて

戦う事だけが全てじゃないさ

仲間だつているし 強い味方

まだまだやれる矛を突き立てて

愛の前でひざまづきて燃えればいい

照らし出された灯りの元で

氷柱の如くに突き刺され

一瞬の勝負 時代の寵児

愛の前でひざまづきて燃えればいい

愛の前で 愛の前で 愛の前で そうさ

愛の前で（後書き）

これは何回も推敲したから5段階中4点くらいかな？

B r a v e (前書き)

勇気って意味です。

B r a v e

勇気信じて下さい

恐怖に打ち勝つ力だよ

どんな時も胸をドンと突く鼓動
苦しみに打ち勝つ力だよ

空飛ぶ飛行船を見つけたら

ラッキーデイ

そして一発てやんでい

知らない事だらけなら

これからたくさん勉強すればいい
遅い事なんてないんだ

僕ら心臓が止まるまで命懸け

勇気信じて下さい

恐怖に打ち勝つ力だよ

どんな時も胸をドンと突く波動
苦しみに打ち勝つ力だよ

ペンは剣よりも強し

それは嘘なんだ

繰り返す争いの歴史
血が流れてやがて剥がれていく 仮面

だから鋭い剣の切っ先を空に高く掲げて
叫ぶんだ B r a v e

勝利こそ正義

暗闇に飲み込まれてしまう前に
恐怖に飲み込まれてしまう前に
部屋のドアを蹴破り大きな声で
叫ぶんだ B r a v e

君が見た夢も僕が見た現実も
宇宙というじわじわ広がる
伝染病みたいに 伝わる
繋がっているんだ 全ては

暗闇に飲み込まれてしまう前に
恐怖に飲み込まれてしまう前に
部屋のドアを蹴破り
街に出かければいい

C r a z y t a x i

信号無視でもいいけどさ 乗客無視しないでね
態度悪いよ 昼間からブラブラしてるからって
二トじゃないよ 僕にも行きたい所がある

君が見た現実も僕が見た夢も
宇宙というじわじわ広がる
伝染病みたいに 伝わる
繋がっているんだ 全ては

だから君は僕で 僕は君で
自分を愛すれば君を愛した事になるし
君を愛すれば自分を愛した事になる
そうやって宇宙のように広げていくんだ

Good communication それがBrave heart

生み出すんだ 勇気を力に変えて
あの大きな岩山をぶち破って
道に変えるんだ

勇気信じて下さい

恐怖に打ち勝つ力だよ

どんな時も胸をドンと突く鼓動
苦しみに打ち勝つ力だよ

勇気信じて下さい

悲しみに打ち勝つ力だよ

どんな時も胸をドンと突く波動
寂しさに打ち勝つ力だよ

B r a v e (後書き)

カッコ良いから満点。

限界突破（前書き）

貴方の書く詩はいつも意味不明ね。

限界突破

限界突破

出し過ぎで壊れるホッパ―

限界突破

漁に出るお前の親父立派

限界突破

沼にいるのは河童

限界突破

鳴り響くラッパ

俺はやるぜ

俺はやるぜ

発破 発破 準備はいいですか？

俺はキメるぜ

俺はキメるぜ

葉っぱ葉っぱ 頭大丈夫ですか？

やり過ぎたジョンレノン

撃たれて死んだ

人々は心打たれて信者

ボルガノンは静謐に電子オルガンで奏でて

ダメな息子 ショーンレノン

優しい顔した平和主義者

ただ尖がれなかっただけ

ボルキヤニツクは氷山にタイタニツク沈めて

ピースピース継承

俺は打つぜ

俺は打つぜ

ヒットヒット 今から野球するのですか

俺は狩るぜ

俺は狩るぜ

ゲットゲット ナンパした事あるのですか

限界突破 限界突破

やっぱ決められないエースストライカー

やっぱ見つからない四つ葉のクローバー

任せるは九回裏のクローザー

いくら考えても思い浮かばないアンサー

アンマーヨ アンマーヨ

日本縦断 基本集団

独りっきりじゃ何も出来ないのよ

意味が無いのよ

それは死ぬ時だけでいい

最後の一瞬はそつと眠るように

呟く言葉は窓枠にカットインする落ち葉

秋風に吹かれて地に落ちる運命

誰も目を留めないのよ

月が道駆ける 太陽が憂き詩ズム

言葉遊びはジャンクなストーリー

大人の脳みそはファンクにアナーキー

けれど平和主義　それだけ

滅茶苦茶な思考の非常ボタンは

発狂する寸前に押すと良い

限界突破　限界突破

限界突破　限界突破

限界突破（後書き）

言葉遊びがウザイので3点くらい。

コキユートス（前書き）

悲嘆つて意味です。

コキユートス

私の声を聞いてください
世界に響き渡る歌を奏でますから
まだ遠い迷い子の泣き声

私の声が聞こえるならば
世界よ 返事をして下さい
天人居る誘いこの秋越え

冬は死の季節 詩の季節
生まれきた覚束ない足取り
子犬繋ぐ誓い乳飲み子吼え

春は息吹の季節 呼吸を始めるコキユートス
カワイイあの娘悶える発情期の前日
ダンテの神曲が歌のように流れる
媚びぬフラグメント近い命の声

咲き誇れ桜 舞い散る花びらは
それぞれ命を持ち自らの意志で
軌道を決める祈りを込め
地獄の最下層から魂の叫びを

そして真夏 熱帯瓜 赤いざらめ
果てしない肢体 小さい小石
焰塞ぐ海 大地光り照り酔え

春夏秋冬 春夏秋冬

過ぎ去っていく日々は走馬灯

幻燈の中に揺らめく女体

春画のこびいをやつていたんだってね

そうか映し身の影に怯え奮え唾飲む

Like a flower myself 例え女が汚くとも

Like a flower myself 男だつて汚い

ひまわりよゴツホゴツホと咳き込み

種を吐き出せ げっ齒類の餌が欲しい

愛玩動物 拝顔する度に心メロメロ

あのコロコロ感が病められなくて

この詩の何処にコキユートス（ひたん）があるか

探索してみても 例えばこのリフレイン

降り止まぬレイン

天人居る誘いこの秋越え

冬は死の季節 子犬繋ぐ誓い乳飲み子吼え

春は息吹の季節 媚びぬフラグメント近い命の声

咲き誇れ桜 軌道を決める祈りを込め

そして真夏 熱帯瓜 赤いざらめ

焰塞ぐ海 大地光り照り酔え

どこに悲嘆がある？

春夏秋冬 春夏秋冬

この道を行っても先は無

けれども果てはあるし

あの山を越えれば絶景が
あの河を泳げばヤマメが

迷ったならば故事に師事するとよい
名言の宝庫だ

L i k e	a	f l o w e r	m y s e l f	例え女が汚くとも
L i k e	a	f l o w e r	m y s e l f	男だって汚い

コキユートス（後書き）

この作品はいつもと違う味がする！4点くらいかな。

風紀委員（前書き）

中学の時は頭は良かったが風紀は乱しまくっていたな・・・。

風紀委員

私風紀委員

生徒手帖の暗誦が特技

化粧等はおもつての他で

黒髪、膝下1?のスカート

紺のソックス

毎日洗つてゐる白いYシャツに

蝶ネクタイ

私風紀委員

成績優秀で

もちろん眉毛は自前の愁眉

封切りの映画はその日に見に行き

感想文を先生に提出する

その素晴らしさと言つたら

君は将来芥川賞作家になれると言われるくらい

私風紀委員

容姿端麗 趣味は山登りで

風光明媚な景色は

もちろんニコンのカメラで

コンテスト 大賞ですと?

その天賦の才能と言つたら

美術部コンクエスト

今日も見られてゐる見られてゐる

私の真似する人最近増えた

世の中馬鹿らしいのよ

男も馬鹿

そこんとこ理解してるのはパパ
警視總監　ママは弁護士

私風紀委員

決して慢心しない冷徹なマシン
真心に訴えかければ相通ずる
朱に交われれば赤くなると言うが
私に交われれば黄色になる
男と交われれば青くなる・・・

私風紀委員

でも彼氏あり

チュ・する時は細心の注意

路駐に気を付けてねとアドバイスする殿方は
大学生のイケメン　富豪の息子
体を許すならこの人しかないわ

私風紀委員

燃え尽き症候群の処女

一般常識はあるけど調子こきは無い

はず・・・

鏡で確かめる　時折髪のをクシャーってやりたくなるのは
何なのかしら　良い子のはずよね

風紀乱す気は無いのに

時折真つ赤なルージユで学校のトイレの鏡に走り書き

何故？わからない。

私風紀委員

何故？わからない。

生徒手帖を暗誦してみる

みんなの見本　それが私

そうあらねばならない

昨日ベッドに突っ伏して一人泣いた

何故？わからない。

風紀委員（後書き）

何か今の自分の気持ちとシンクロするので4点。

現実逃避（ It notices . ）（前書き）

うーん美しさに欠ける・・・。

現実逃避（ It notices . ）

すぐさま避難せよ

リアルという戦場から

仕事なんてしないで

親の脛かじれ

大爆笑

TVショー

ポテチポロポロこぼしながら

寝転んで

クズ呼ばわりされたら

理屈をこね回せ

人間というのは本来怠け性で

生きるために仕方なく活動するのだと

どうだと言わんばかりにドヤ顔してるうちに

親が死んだ 僕は金を無心する為に親戚中をまわる

後悔先に立たず 素寒貧の僕を総スカン

助かるのはまだ僕が若いって事

とりあえず長く伸ばした髭は剃って

就職活動 十字架背負う 重いな

入社できたけど歯医者通う時間が無い

それでいいんです

正解はこんな所にあつたのか

汗水垂らして働く辛さはしょっぱい味噌汁

1日仕事したら後は寝るだけ

親父が日曜日いつも横になって居眠りばかりしてるのは
疲れてるからだっただなと今更気付いた
思えばお疲れの言葉もかけてやれずに
ブログに悪口ばかり書いていたっけ

生きる事 逃げる事 どっちでもいいよ
君の命がいつか燃え尽きる それだけが真実で
TIME IS MONEYっていうから不眠不休で復旧すればいいんじゃない？

時は経ち無理はしない方がいいよって誰かが言ってくれて
僕も最近何か疲れやすいなと思っていただけ
肝臓にガンが出来ていてガンと落ち込んだ
洒落になんないよなんないよ悪い夢ならばと
マツキー口ずさむ末期の俺

生きる事 逃げる事 どっちでもいいよ
僕の命がいつか燃え尽きる それだけが真実で
抗癌剤で蝋燭の灯火を永らえさせる

やっぱり逃げたら負けなのよね
最期の時に万感募る晩餐は
僕が死んだ後に皆が催すから
お星様になった僕は腹が減ってしょうがない餓鬼

ほらあの赤く光る妖星が僕だよ
みんな見えるか？いつか滅び消える時に
誰かを道連れにするよ 夜空見上げる孔明

仲達を走らす

現実逃避（ It notices . ）（後書き）

まあこの程度のレベル？2点だ！

一度きりの旅路（前書き）

人生はギャンブル。

一度きりの旅路

座して死を待つくらいなら

アクシヨン　フィクションじゃない

命を大事に抱えた一度きりの旅路

諦めたら立ち止まったらただのルーザー

栄光を知りながらそれでも止まらないウィナー

永遠に続く成功を手に入れようとするドリーマー

苦しくても逃げたくても退路は無いクライマー

生き急ぐ事が正解とは言わない

答えは無数にある

数学じゃないから

それと同じ様に道は分かれ迷う

それでもいいさ　選択するのが怖いなら

一か八かの賭けに出りゃいい

出鱈目なダイス

六が三つ揃ったら

ナイスなダミアン

信じる事を忘れたら自分を偽ったら라이어

どうせなら最後まで演じきるアクター

待ち受けるテラ銭の罠　鉄壁負け知らずのディーラー

それでもひっくり返す手だれのギャンブラー

人生は負けたり勝ったり夢見たり登ったり

嘘を付いたり演じたり弄んだり賭けに出たり

そんな色とりどりの極楽鳥

羽ばたくなら今だ

チャンスは何処にでも転がっているから

自分だけのカラー見つけ出したいから

答えはそこにあるかもしれないから

生き急ぐ事が正解とは言わない

答えは無数にある

数学じゃないから

でも座して死を待つくらいなら

アクション フィクションじゃない

命を大事に抱えた一度きりの旅路

だから喉がカラカラになるまで歩き続けるから

自分だけのカラー見つけ出すから

それはきつと宝物だから

K A R A K A R A G O G O S U M M E R

行こうぜ バカラ 財布が空になるまで

続く勝負さ

選択するのが怖いなら

一か八かの賭けに出りゃいい

出鱈目なダイス

六が三つ揃ったら

ナイスなダミアン

一度きりの旅路（後書き）

またK A R Aが出てきたよ。どんだけ好きなんだ・・・。
からからつるさいから2点だ。

上京人と引きこもり（前書き）

B・zの「Don't wanna lie」の曲で歌えるよ。
たぶん。）

製作時間丁度2時間。天才だ。（笑）

上京人と引きこもり

旅立ちの時に貴方が
作ってくれた弁当

行ってきますと一声かけた
さらば愛しき人

君の名前何度も叫び
涙を拭った

どんな事もどんな事も
やり遂げる覚悟はある
あんな事もあんな事も
僕の羽は折れず戦う

明日への道は険しく
けど立ち止まらない

言いたい事さえも言えずに
部屋の隅っこ座り
誰か声をかけてくるのを
待ってるすねた坊や

何でもいいよ
1番になろう
世界変えてみよう

ドントマインだ ドントマインだ

地雷踏んでも良いんだ

アンサーは無い アンサーは無い
後ろに出来た轍が答え

キラリ光る水面に扉あるかもね

きつと貴方は希望の丘で
待っているかも

意外な物 確かな物 どっちもありの世界だから
目を開いて希望という光を密かに握りしめて

どんな事もどんな事も
目を背けないと誓う
あんな事もあんな事も
目をそらさないで見つめる

迷子の子どもみたいに
泣いているのかもね

上京人と引きこもり（後書き）

ホントにほとんど狂い無く歌えるので満点。

Mr・サラリーマン(リアルとは?) (前書き)

暑いですね。お疲れ様です。

Mr・サラリーマン(リアルとは?)

ぐるぐる回るメールシュトロームの渦は
まるでメニエール病 many mail パニック
ダミードール

吹く風は熱く真夏の夜は短く
惜しむように盗むように夜を楽しむ

眠れないのはいつもの事で

黒と紫の毒物を味の無くなったガムと一緒に捨てたい

寒気がする程陰惨なニュース

温くて炭酸の抜けたジュース

飲み込み胃腸を痛めつける毎日

Mr・サラリーマン 元気ですか?

リアルって何か

満員電車で揺られ

ヘトヘトでマンションに帰り

キンキンに冷えたビールを飲み干し

そのまま眠る

そんな日々をどってん冥海 がってん明解
繰り返される日々の事だろう

たまには外食でもしたいね

フランス 中国 イタリアン

でもやっぱり家でリーズナブルなオードブル

いいね

ささやかな楽しみをしゃぶり尽くして
骨だけ残したら箸渡ししましょうね

神様 仏様 如何様

逆さまのハングドマンの反逆

ぐるぐる回るメールシュトロームの渦は

まるでメニエール病 many mail パニック
ダミードール

吹く風は熱く真夏の夜は短く
惜しむように盗むように夜を楽しむ

眠れないのはいつもの事で
黒と紫の毒物を味の無くなったガムと一緒に捨てたい

寒気がする程陰惨なニュース
温くて炭酸の抜けたジュース
飲み込み胃腸を痛めつける毎日
Mr.サラリーマン 元気ないよ？

リアルって何か
満員電車で揺られ
ヘトヘトでマンションに帰り
キンキンに冷えたビールを飲み干し
そのまま眠る

そんな日々をどってん冥海 がってん明解
繰り返される日々の事だろう

捨てっちまえそんなもん。全部。全部。

笑っちまえ。自殺。セイコウ。モダニズム。全部。全部。
喜劇だと思えば自分が可笑しくて笑えてくる。

そしたら狂人の仲間入り。大きなお世話。小さな親切。

ハAC（公共広告機構）ハ創価学会ハあいだみつを

リアルとは？

果たして？

何が真実で何が嘘なのだろう

Mr・サラリーマン(リアルとは?) (後書き)

うーん人生って儚いね。 奇妙な詩だな。 4点くらいかな。

P a n i c (前書き)

ちよつと飲んだら吐くし、たのしみはしをかくことでちゅ。

これ作ってから3カ月以上経過してるんだな。いくらナウい(死語)
詩人といつてもスランプに陥る事もある。

P a n i c

錯乱状態

さくらんぼ S H O W T I M E

仕事出来ない窓際

デスクの上は書類が積み重なっていて

課長には今日中に仕上げなきゃ首だと言われた

大事な書類をシュレッダーにかけてしまつて

途中で詰まつたから引つ張り出そうとしたら

刃が折れた

錯乱状態

さくらんぼ S H O W T I M E

もうイヤイヤ

蛙の子は蛙なのね

実家の親父も社用の車両で

全損 事故つて首

今は寝転がつて煎餅食べながらTV見てるらしい

毎日毎日

果てしなくだらしくしょうが無いから歩いて買つて来る

かつおのたたきだから 今夜の晩ご飯 おかずはそれだけ

昔からそうだった 小麦粉水で練つて焼いて食つてた

大学生の時 味はしない でも金が無いのね

部屋は汚くティッシュが何故か？散乱し

寝タバコしてるからベットが焦げて穴だらけ
風呂の掃除は毎日してるよ

管が詰まっっていて水が溜まり腐るから

電話しろよクラシアンに

番号調べるのめんどくさい

大家さんに見つかって出てけと言われたが

ここが一番安い

錯乱状態

さくらんぼSHOW TIME

いつもいつも

考えてはいるが人からは君は馬鹿だねとよく言われる

いよいよって時に女子社員が哀れみの目で入れてくれたお茶を

キーボードにこぼして何処をどうやってか知らないがPCがシャッ

トダウン

ついでに灰皿で揉み消したと思っていたタバコが完全に消えてなくて

小火騒ぎ あー終わった

ハローワークってこんなにちはお仕事さんって意味なのかな

夢中になって調べていたら一時間も経っていて後ろには冷たい眼差
しの行列

仕事なんてないや 資格なんてないや 貯金なんてないや

あるのは借金だけ 弁護士さん 助けてー

それでもボラれて僕の人生 The end 決定

錯乱状態

さくらんぼSHOW TIME

錯乱状態

さくらんぼSHOW TIME

みんな死ねと交差点の真ん中で叫んで倒れたら
人の群れは僕を踏みつけていった

いつでもPanic いつまでもPanic
Run Run する程混乱 天草四郎時貞の乱 何年だったかわ
からない切支丹

P a n i c (後書き)

分かる人にしか分からないような気もするし特に点数は付けません。
いかに平均から離れるかという事が重要だと思っから。

行く末に見える勲章（前書き）

最新作ですね。ストックはあるんですけど何かピンと来ないので。
その内載せますが・・・。

行く末に見える勲章

時の流れは狂い始め

地球は怒り宇宙は飽和状態

僕たちの行く末は決して

明るくない それでも

呼吸をしよう もっと深く

生きてる悦びなんて大袈裟すぎ

普通が1番

笑えないジョークでも笑ってやろうよ

それが生きてる者に対しての礼儀

海は赤く

空は緑色で

血液は黄色 信号みたい

でも未来の地球にどんな事が

あっても恐れずに現象を見つめる

誰でも誰かにひっそりと寄り添って

朝が来るのを待って

赤い目をして欠伸を堪えながら

おはようそれだけでいい

苦しい事があるなら言ってよ

全部は受け止められず零してしまうかもしれない

それでもそれさえもストローですすつて

君の涙が洪水を起こす前にせき止めてあげるから

男だからとか女だとかホントはどうでも良い事なんだよ

聖母マリア　おおマリア　貴方は美しい生命を産み出したのです

ただ凸凹の道をゼーゼー言いながら走り抜ける為に僕ら生まれたんだ
どうしてってその先に救いがあるから

植え付けられた花だって咲きたくて咲いてる訳じゃないし
散りたくて散る訳でもない　そうだろう？

きっと僕らは人生と言う試練を自ら望んだんだ
苦しい事があるなら言つてよ

全部は受け止められず零してしまうかもしれない
それでもそれさえもストローですすつて

君の涙が洪水を起こす前にせき止めてあげるから
君と出会うために大きなどんな大きな壁も越えてきたんだ
今更後戻りなんて出来ない

強く抱きしめてキスする　それくらいしても良いだろ
楽しい事いっぱい　失敗もいっぱい　精一杯頑張れば
勲章は必ず僕たちの胸元にいつか輝くのです

行く末に見える勲章（後書き）

自分で点数付けるのも虚しいというか馬鹿っぽいですよね。
全部満点だって言い張れば良いし。

アンジェラ（前書き）

アキ姉さんをイメージして作りました。

アンジェラ

アンジェラ 何故君はそんなに切なげに歌うの？

叩く鍵盤はウイスキーグラスの氷が溶けてコツンと鳴る様に
静寂の中の一輪のタンポポの花が散る音

アンジェラ 何故君はそんなに勇敢に歌うの？

叩く鍵盤は綿毛が舞い散ってそつと地に落ちる様に
静寂の中の水の波紋の始まりが広がる音

OH! アンジェラ 孤独を教えてくれた

温かい毛布に包まれている子猫の様に

みゆうみゆうと鳴く様に歌う君は幾つの恋に破れたの？

僕は心揺り動かされる 百合の様に

フォスフォレスセンスはきつとその仲間で

君の白い肌に鮮やかに流れ出でる黒髪に挿したら
良く似合うと思う

君はウエディングドレスがとても似合うみんなの姉
君はシルバリングがとても似合う死んだ白鳥の羽

アンジェラ 何故君はそんなに沈黙を歌うの？

叩く鍵盤はウイスキーグラスの氷が溶けてコツンと鳴る様に
静寂の中の一輪のタンポポの花が散る音

アンジェラ 何故君はそんなに孤独を歌うの？

叩く鍵盤は綿毛が舞い散ってそつと地に落ちる様に
静寂の中の水の波紋の始まりが広がる音

オーオ オーオ まるで原子のコア・リズムの生け贄
オーオ オーオ まるで太古の太鼓の協和音

僕は心揺り動かされる 百合の様に

フオスフオレスセンスはきつとその仲間で

君の白い肌に鮮やかに流れ出でる黒髪に挿したら
良く似合うと思う

君はウエディングドレスがとても似合うみんなの姉
君はシルバーリングがとても似合う死んだ白鳥の羽

アンジェラ（後書き）

敬愛の頭つて摩訶不思議なのねん。

変な韻踏むなよ、地雷だぜ（前書き）

韻とオヤジギャグの違い。ギリギリの口撃をお楽しみ下さい。

変な韻踏むなよ、地雷だぜ

生きとし生ける者の苦しみを全て
ブラックホールにぶち込んでしまえ

だってそんなもんクソだろう
俺達が何したって言うんだ

あの娘は独りで頑張ってたんだ
ブルブル震えながら堪えてるんだ

YO！神よいるのか いないのか
返事が無いなら 空に唾吐くぜ

昨日飲んだ酒が最高にファンキーで
今日はファッ কিনな体調

ファッ ション重視の若者達に
置いてかれないように必死でカツラこさえてるんだ

おい、おっさん無理は禁物
心臓が破裂する豚みたいだぜ

ないない俺は無理してない
だって捨てる物ないからさ
持ってるものは全部黄金より輝く

大判 小判 交番は鋼板でさ 三匹の子豚状態
つまらないオヤジギャグで意味がわからねえ

今宵妻と酌み交わしたシャンパン
ようわからんけどなんか雰囲気呑まれた
いつもより魅力的に見えて取って置いた
ホテルの部屋で火照る肌

オヤジ オヤジ 子供はいないけど
もう体力続かない 軽くリタイア出来るほど
甘くは無いんだ

法相に死刑を掛け合つかい 何もしてないのにね
そいつが罪なんだが気付きもしなかったよ

アラサーのインポテンツ アラ福原がサー
カーワイーイよね

コリゴリだかウホウホだか知らんけど
死にやがれ ゴメン大切にしてくれ

生きとし生ける者の苦しみを全て
ブラックホールにぶち込んでしまえ

だってそんなもんクソだろう
俺達は何したって言うんだ

神の罰だろう だってお前みんなの嫌われ者だもの
妻の胸の谷間で眠る「愛してるわよ貴方」

ホントかよ？

上がってこ

上がってこ 上がってこ 手の届く距離まで
朝恭しく昇ってきた太陽
鬱陶しいからこの手で握り潰す

隣りにいる君の瞳は星空の様に輝いて
まばたきする度に揺れるまつ毛が美しい

愛なんて言葉は陳腐だからいらない
青春のだ真ん中 ストレート投げ込め

上がってこ 上がってこ 翼が折れるまで
夜恭しく昇ってきた月
寂しくて見上げると雲に隠れる

繰り返される日々 何とは無しに叫びたくなる
君がいない世界なんてまっぴらごめんだ

ベッドの側に置いてあるフォトグラフ
色褪せないように急速 休息 空想喰うバク

バグッちゃって はぐれちゃって
扇風機の風がポスター剥がして
一体時計の針は何処を目指してるの？

行き先不明の観覧車なら僕はそんな物じゃない

爺 婆が戦時中から流してきた血と涙があるから
僕等連日飛び切りのビーフやチキン食べられる

汗と涎垂らして

H i g h ! H i g h ! H i g h !

上がってこ 上がってこ リミットの嫉妬 (j e a l o u s y)

どこまでも目指すはあの財宝 (大成功)

ひたむきに前向きに走れよ ゴールテープ切るまで

立ち止まってもいいよ 止めなきゃ負けじゃない (じゃない、じゃない)

上がってこ 上がってこ リミットの嫉妬 (j e a l o u s y)

どこまでも目指すはあの財宝 (大成功)

ひたむきに前向きに走れよ ゴールテープ切るまで

立ち止まってもいいよ 止めなきゃ負けじゃない (じゃない、じゃない)

隣りにいる君の髪は黒曜石の様に輝いて

風が吹くたび香るかぐわしき揺れる揺れるポニーテール

ファースト（前書き）

ファーストチルドレン永遠に・・・。

ファースト

一番大事なものは君の足元にあるさ
踏みつけないで 見えないから

僕の大事なものは心の中にあるさ
こじ開けないで 叶わないから

ファーファー

何の音かしら 死にかけのお爺ちゃんの寝息だった

若いつてホント素晴らしい 無限の可能性
けっぱれ 総理にでも大臣にもなれる あっぱれ

老人はオムツにウンコするけど誰が言う
貴方行く道よ

冗談よしてよ その前に逝くよ
きっぱり決めているんだ
偉くなれないならさっぱり死んでやるって
でもね中々上手くはいかないものさ

この覚悟誰にも証明できない
言葉にもできない 確かに存在するのに
もどかしくて

私が死んでも代わりが居るなら命は儚く散ってもいいの？
そうじゃない

君は例え贗物の魂の入れ物でも僕にとっては

ユイなんだ

蘇りたい 蘇らせたい 命にしがみつきたい
生まれてきてしまったのだから

終わりがあるストーリーに気付かぬフリしてよ

ヒロイズムってステキね

彼女はみんなのアイドルで

僕がその花弁に受粉する事は許されないけど

それでも孤独じゃないなら僕の罪は許されるはずなんだ

いつか終わりがああるストーリーのエンドロール流れ出す時
ホントに楽しかったよ ありがとう 君に言えたら

随分皺くちやになつたわねって言って

二人鏡の中に収まって 叩き割ってよ

粉々のガラスの破片に幾つも幾つも

僕達が映る様に

ありふれたフレーズでゴメンネ

さよなら ありがとう もう二度と言わないから

ありふれたフレーズでゴメンネ

逝くよ とても気持ちが良いね

もう眠いんだ もう二度と目が覚めないなら

瞳孔に君の動向を焼き付けておきたいんだけど

ダメかな？

ダメじゃない？

決して人形じゃない 僕は一度も人を物扱いしなかった
それはその思いがあつたからこそ
僕を批判する奴こそ悪魔の化身だ

レイ愛していたよ 何人目かもわからないけど

羽MOON

月が飛んで行っちゃった
月が飛んで行っちゃった
突然羽が生えて

置いてきぼりのアポロ
科学の歴史が覆る

おちよこで月を見ながら一杯
そんな風情が魔貫光殺砲

ピピピッ
ピピピッ

お団子コロコロ
コッコッコッ

時知らずは鮭
朝焼けにニワトリが泣く

羽根の生えた月のシルエット
いつも影だった夜景 美しきは
遙か 遠く 新種のスライム

羽根の生えた月のシルエット
いつも影だった夜景 美しきは
遙か 遠く 珍種のうさびょん

コリン星爆破 餡子の嘔吐
信じてたのに

ちよっとおかしいとは思っていたけど

羽MOON 羽MOON 何か嫌な事でもあった？
戻っておいでよ 野菜人大猿にならざる
心配無いよ

ローレライ 帰れない

美しき秋の慕情 悲しげな秋の墓標
古城に住むは愚かな王様の亡霊

暴君デュオニソスも星々は殺せまい
今更何を言う メロスとセリヌンティウスの
熱き友情の前で ならば暴君空を見上げよ
己の小ささを知るならば仲間に入れて上げましょう

飛んで行った月は星雲に囚われ
残された太陽は働き続け
世界は朝から晩まで青雲

君が見た光は毎日香
3時のおやつは文明堂

暗闇を照らす月が消えたならば
私たちどうすれば良いのでしょうか

太陽さんとお月様のかくれんぼ
いい加減やめてお月様に帰ってくるよう伝えてくれ

羽MOON 羽MOON
ご機嫌斜めな貴方は要
旅をしているのでしょうか

羽をもぎ取ればただのMOON
また軌道上に戻るだけ

羽根の生えた月のシルエット
いつも影だった夜景 美しきは
遙か 遠く 新種のスライム

羽根の生えた月のシルエット
いつも影だった夜景 美しきは
遙か 遠く 珍種のうさぴょん

B (Bullet boy) (前書き)

納得いかない。こんなもんじゃない。そんな葛藤の詩。
優しく(易しく)は出来ないんだ。

B (Bullet boy)

損したなんて思っんじゃない

ポケットのバレット

言霊に愛を込めれば心に突き刺さる

あの娘が親に見捨てられて

暴力的な街に飲み込まれそうになってる

守らなきゃならない

僕の愛は音の出ないクラリネット

しれっとしたカスタネット

ボーダーラインぶち壊せないセーフティネット

でも雨の中 孤独の看板立ててる君を見つけたら

そっと傘を差し出すし

そのくらいの優しさは持つてるつもり

君はダンボールの中に捨てられた子猫

寂しいんだろ

温かい所に行こう ジャガイモを裏ごししたスープを出すよ

誰もが死神に魅入られた赤子

正義の旗はジャンヌ・ダルク軽く胸上げ

君を守るよ 分かち合うべき宝石は

まだカットされてない原石だけど

二人交われば輝く成功

暑い夏も風の中でも

ドシャ降りの雨でも君と一緒にいたい
霧の中、君を探し出すよ

必ず見つける 何処にいても
君のパフューム僕なら必ず気付くから

大切な君をずっと僕の隣りに
大好きな君をそっと見守り

だから だからさ

お得なバーゲンセールのちらし集めて
シヨッピングに出かけよう
夏物を身につけて
真夏日力キ氷でも食べよう

特別暑い夜に愛を込めたパレットの言霊
君に贈るよ

真っ白な絵の具を乗せたパレットで黒色の世界を汚そう

損したなんて思っんじゃない
ポケットのパレット

言霊に愛を込めれば心に突き刺さる

くだらない世界に僕等吸い込まれて
日常に怯えてるけど二人ならきつとやれる
負け犬の遠吠えに感化されてしまう前に
呼吸を合わせて光になる

そして真っ白な絵の具を乗せたパレットで黒色の世界を汚そう

B (Bullet boy) (後書き)

自分で言うのもなんだけどありがちもありがち・・・。
1点だね。

意味なんて無くて（前書き）

最新作です。旧作の出来が非常に恥ずかしい物で（まあ載せる事は載せるのですが・・・。）こいつを持つてきました。

意味なんて無くて

心は心を求めてる

ただ触れ合うだけで

満たされるなら

アダムとイブも幸せだったろうにね

混乱する社会 反乱する分子

傷つけた手首 溢れ出す血飛沫

愛と愛はぶつかり合って

人は初めてホントを知る

とても怖いのは傷付けられる事
ではなく人を傷つけてしまう事

僕の口から放たれる言葉には

意味なんか無くて

ただ無性に甘えたいだけだから

丸い渦巻き模様のキャンディを

口にぶっこめばいい

スイートな夜には壁に耳あり障子に目ありなんて無粋

互いが互いを見つめる行為に励む

ただひたすら

恋という文字は手紙に書くにはとても恥ずかしく

好きという文字はメールで伝わる訳もない

だから歌う 僕の好きな歌 優しく負けない強い歌
膨れ上がった恋が

衝動からくる胸を突き刺す痛みを伴うのならば

いつそ冷や水を浴びせて狂った欲望を押さえつける

それはよけいなおせっかいだとしても

あまりにも見苦しいから

僕自身ありのままの姿は嫌だし

目を背けたい感情をろうそくを吹き消すように

そっと息を吹き掛けて消して欲しい

いつかいつかと言ってる内に瞬く間に過ぎ去っていく日付に
せめてもの抵抗として人は何か依存出来るものを探し続ける

そんな時ラジオから流れてくる言葉の洪水は心地良く

何時までも身を委ねたくなる

一生勉強ならば僕は昔の教科書を引っ張り出しましょう

忘れていたとしても片隅にいつも寄り添ってくれるのは思い出
自分自身が大事な存在なんだと何時まで経っても思えるように
記録していく詩を記憶して行くしそんな詩にいつか出会えると
信じて今日も机の前に座る神聖な気持ち酒によってまどろむ

今日もまどろむ 時折覚醒する

心は心を求めてる

ただ触れ合うだけで

満たされるなら

アダムとイブも幸せだったろうにね

意味なんて無くて（後書き）

そんなに悪くは無いかな・・・でも愚作のような気もするし、
点くらいだと思っ。 3

ダイアログ（前書き）

初めて詩を書いた時、こういう詩が多かった。孤独だったんだと思う。

今もあまり変わっちゃいないね。

ダイアログ

その台詞は聞き飽きたよ

でも言いたい

証明が欲しいんだな

言葉だけ信用してる

もし嘘だったとしたら

沈黙よりましね

君は少し僕を買いかぶってる

あら、私にお似合いだと思うけど

低レベルそれとも高レベルかな

貴方は私の姿が見えないのかしら

姿は見えても心は見えない

心は綺麗に磨いてあるから透明よ

ホントかな

見ればいいじゃない

そんな気分じゃないんだ

そんな事言ったら始まらないわ

少し疲れ気味でね

何言ってるの 衝動よ

じゃあ君は衝動で犯罪を犯すのかい

笑っちゃう 私今幸せだもの

レッテル張りは良くないよ さっきも言っただけ

忘れたわ それより早く・・・

僕がその言葉を放つたらこの平穏な日々は終わりを告げる

それでも君は求めるのだろうか

いくら体を重ね合わせてもココロの在り処が分からないままで

男と女はいつも一本の大河を挟んで睨み合ってる

貴方を信じてる
信じる事は裏切られて傷つく事もある
私は恐れない
僕は怖い
側にいるだけじゃダメかな
独りになりたい
誰か側にいないと
わかってる
貴方壊れちゃう
繊細なのかな
ナーバスにならないで
元々なんだ
キスしてあげる
要らないよ
どうして
唇が乾いているからさ
嘘付いてる
ああ僕のサインか
そう瞬きが多くなる
どうにもこうにもやるせないね
何が 貴方の求めるものは
真実と言ったら気障だけど人は何故生きるのかって
そんな事宇宙に聞いたら
息が出来ないよ
虫にでも聞けば
僕は虫が嫌いだ
子供の頃を思い出すわ
そうあの頃は嫌いな物なんてピーマンくらいだった
でも今は違うのね

ああ今は嫌いなのは自分自身 他には何も無い
私の事は好きなのかしら
それは・・・

僕がその言葉を放つたらこの平穏な日々は終わりを告げる
それでも君は求めるのだろうか
いくら体を重ね合わせてもココロの在り処が分からないままで
男と女はいつも一本の大河を挟んで睨み合ってる

ダイアログ（後書き）

この作品を含む3編（繰上げ抱擁とそれでも俺は）は文芸思潮の詩のコンテストで一次審査も通りませんでした。えーん、えーん。

夢の国（前書き）

なんかダラダラした詩ですー。これも最新作です。どうもスランプ
気味でここ3カ月以内に書いた詩はあまり自信がない。

夢の国

毎日、毎日見る夢

楽しかったり 苦しかったり

現実逃避出来るささやかな時間

誰にも邪魔させたくも無いし

深夜携帯にかかってくる「私死にたいの」

なんて戯言

それでも友達だから話を聞いてあげる

自殺なんて馬鹿げてる

そんな私も時折死にたくなる

彼氏が私を抱いてくれて

温かな温もりに包まれている時さえ

雷鳴の響きに怯えるようなナーバスさなのです

生命の起源 進化の過程 その間に何度も

心地良くも秘密の行為が行われていて

なんだまだ中坊だろ 悩むな

これから先はまだまだ長いぞと偉そうにネット友達を叱咤激励

増えすぎた人類 退化の道に進んでいるような気がしてならない

中堅の生活が溢れかえっていて仲間意識 嫌大人は汚いよ

コミュニティからはみ出してこそそのROCKだろ

人は皆孤独なんてありふれたフレーズをぶち壊す

ドラムセットもぶち壊す

狂乱 頭は熱を持ちいつまでも眠れない

ある患者が医者に行った 私何時か眠れなくなってしまうたのです
死ぬのでしょうか 医師は大丈夫何れ死んだように眠れます

この医者は人の心に寄りそれてない
自らが頑張っているというプライド

医師であるという自覚

でも時折ビール片手にフライドチキン等を食べている

子供に戻れたらお菓子の国を作り心ゆくまで堪能したら気球で世界
を一周したい

そんな幼稚な夢が子供の頃には真実で心の支えだった

変わってしまったな とても忙しくて目が回りそう

責任を果たすという事 でも責任を無視して放浪の旅に出るのも自由
悠々自適に收拾悲的 ゴミを収集する男は娘に臭いと言われている

F r e e d o m 女神の微笑み いつか亜米利加で鼻の高い白い

人黒い人の仲間に入れてもらいたいよ 日本はちょっと窮屈すぎて
狭いから大きなベッドで一人素敵な夢を見るの

喧騒も干渉も無い世界で

時間が経てばお菓子の家も腐る それは夢と同じなのかもね 早く
食べないと菌に冒されてしまうの・・・。

夢の国（後書き）

散文詩やね・・・。苦手な分野です。ちょっといじったので多少はマシになったかも。ほんの少しですが。

寒いよ（前書き）

フラれた女が自棄を起こすクリスマス。 （ちょっと早いですが・汗）

寒いよ

寒いよ

君にメールでふられてから
どうして電話じゃないの？
着信拒否されてるから声も聞けない

ショック 他に好きな人が出来たなんて
私との3年はなんだったの？
ダイアリー読み返してみたら
貴方との思い出ばかり

寒いよ

ストーブは付けているのに
独りじゃどうしようもないじゃない
風邪引いちゃったかな

ハードラック クリスマスが今年もやってくる
あと3日 どうしてこんな時になの？
アルバム見返してみたら
貴方との写真ばかり

心にピュ・ピュ・とすきま風
この穴を埋めてくれるのは
他でもない貴方だったのに
今は水槽で飼っている亀

寒いよ 寒いよ

山岳救助隊SOS

ブルブル震えるセントバーナード
頼りにならないじゃない
今夜ブランデー一本空けるわ

DO YOU KNOW ME?

どういうつもり?

酔いが回って誰かに慰めて欲しいわよ
私へたくそだった?

グッドラックそんな簡単に言えるほど
私淡泊じゃない

愛して欲しいよ 誰か お願い

星の王子様 サンテグジュペリだっけ
読んだ事ないけどきつとロマンチストなのね

本を山ほど読んでいた貴方

私置いてきぼりで隣りに座って一緒に読もうとしたら
本は一人静かに読むものだ 邪魔するなって言われた

パソコンの知識がプロ級だった貴方

何かプログラムを組んでいるから何に使うのって聞いたら
人工知能の恋人さってニヤって笑って私の顔見た

DO YOU KNOW ME?

どういうつもり?

酔いが回って誰かに慰めて欲しいわよ
私ぶさいくだった?

ヘッドロック貴方にかけたい
苦しむ顔を見て笑い

どう私以外の女なんて刺激ないわよ

ゲリラ作戦 白線から出たら死ぬわよ

私と貴方の距離感

貴方は遠ざかりたいし

私は近付きたい

もう遅いよね 貴方もう他の女の虜

イブのベル鳴り響いて私もう一人なんだって
やっと気付いたの

寒いよ 寒いよ しばらくババシャツと毛系のパンツで
しのぐわよ 男なんていなくなつて死ぬわけじゃない
むしろ無駄毛の処理しなくて助かるわよ

Why? (前書き)

また散文詩ですね。スランプ気味です。

Why?

何が何だかわからないんだ

君と一緒にいられる事

それは神様が僕に与えてくれた愉悦

蹴り殺しにするようにしゃぶり尽くす

君を大切にしたいと思っているのに

君と一緒にいられる事

それは大きな大きな宝箱の中の小さな宝石

気づかずにいたんだ

何が何だかわからないんだ

君と抱き合ってキスをして

単純な愛の形　それで良かったのに

何時の間にか迷い込んでしまった迷宮

悠久の時の中で僕は力ギを無くしてしまっただんだ

君の心を開く力ギ

君という存在 確かなる信賴

それらが幻の誘惑に駆られた蛍光灯に集まる蛾のように

汚らわしく 集まり 泥水に変わっていくのが耐えられなくて

君を壊す 僕の我儘で

耐えられやしないんだ 君も僕も

二人ただ寄り添って手を繋ぐだけで

幸せだったのに

求めすぎた H E A R T t o H E A R T

過ぎ去った日々が思い出に変わってしまうのは何故？

どうしても君をモノにしたいなら僕は壊れてもいい

けれど抜け殻になった僕を君は愛してくれる？

何が何だか分からないんだ

悦び 希望 夢 愛 どれも陳腐で

僕の心の隙間を埋めてくれない

君と一度限りの戦いなんだ

勝つか負けるかでは無く惹かれあつていく磁石のように

何が真実か 純粹に 反発しあう磁石のように

境界線をどちらが先にまたぐか

何か見えてくる いつか君が僕から離れて行っても

僕は心臓に閉じ込めた君の姿を忘れはしない

だから君を鳥籠から放つよ

戻ってきてくれる事を信じて

僕はもう 君を縛り付けておくのは嫌になったのさ

謎だらけの P u r e L o v e 答えを探すのはきつと

人生の命題なんだ W h y ? W h y ?

謎めいている それでも探し続け問い続ける

中毒（前書き）

またしても最新作の散文的な口ぶりでー

やたら嘘ぶくエイリアン、エイリアン状態となっております。（シリアルテীবイードラマ 桃源郷エイリアン）

最近「降りて」来ないので九月中に完結済みにしよっかな。

中毒

起き抜けからカフェイン摂取で瞳孔開きっぱ

睡眠薬抜けるの早いから丑三つ時からカーニバル

1階と2階を往復

何をしたいのやら暇を持て余してる

ぐっすり眠りたいよ

体が疲れ果てて落ちていく感覚

そして太陽が昇る頃目覚める

窓の隙間から差し込む ヒカリ

そんな当たり前の快感からは

とんとご無沙汰

全く嫌になってしまう

夫に不満足なBLACK MONEY稼ぐ人妻

夜には魔物が住んでいるんだよ

恋人達のスウィーティな囁きが

救急車のサイレンみたいにドップラー効果

僕は精神安定剤の多量服薬でTrip ICU
(I see you.)

暇つぶしに書くポエム 全くの書き捨て

旅先で肝試し 霊前にタバコの吸殻を捨てる

なんて罰当たりな場当たり 全部勢い

正常な神経ぶち壊し 脳波乱せ

乱れる髪をそつと擦って

一発かましたら

もうお前には用は無いよと

大食漢の触感 正直気持ち悪かった

意味なんて要らないけど意義を振りかざせば審議

結末は如何な物か 真偽と信義は三国時代

みんな同じだと甘つちよろいわ

僕の自殺願望 鼻に突っ込むぜ 息リフレッシュして逝きな

彼女はみんな知ってるから頭が上がらないよ

生涯愛すると誓ったんだから 破るのは原稿用紙だけ

絶対は無いけど だから 離婚届には署名してある

それではどうもありがとう 酒を買いに行こうかと思っていたが

ノーアウト満塁のピンチ 切り抜けた

どうでもいいですが 起きてからコーヒー5杯飲みました

ホントどうでもいいですね 貴方の命の入れ物と私の命の入れ物は
取り替えられませんから 私が暴拳に及んでも叱らないで下さい

酒、タバコ、コーヒーみんなみんな合法スペシャルドラッグ

大麻なんかよりずっと体に悪いんです とあるミュージシャンが
言っていたな

もう逝けよ 1番怖いのは愛されたいのラブ・ドラッグ

この世は(Happy World)(前書き)

寝ぼけながら作ったけど何とか体裁は整ったな。短いけど。

この世は(Happy World)

この世は貴方の知らない事で満ち満ちているの
忘れないで ここに書き留めておくから

いつか悲しい事が合つてその日が雨であつて
涙が濁流に飲み込まれる小さな川であつたとしても

とめどないルイは確かに胸に刻まれる
生きている証なんだと心の臓 像の神にPray

人は時に醜く進化する前の原始人に戻つて
共に手を取り合うのではなく物を取り合う

でも私たちは必ず共鳴出来るから
同じ願いの元行動する同志がいるという事
忘れないで

恋だつてたくさんすればいいさ
大好きな人に嘘を付きたくないなら

L i o n H e a r t 時に B r o k e n H e a r t
そんな時必ず誰かが見守つていてくれて
手を差し伸べてくれて歌を唄ってくれる

ああ、Happy world 僕たちがここに
ああ、Happy world 私たちがここに
光に満ち満ちているの 世界は優しく不可能は無い
それは貴方が夢を見ているから

それはとてもステキな事
忘れないで 胸のドキユン
忘れないで 胸のズキユン
ズキユン

この世は(Happy World)(後書き)

夢を見たのです。これは金の卵かもしれないので満点！

僕（前書き）

3カ月以上前に書いたやつです。余り物なのでざーっと読み流して下さい。後4つくらいあるので見せます。バカだなこいつと思って優越感に浸っていたくのも粹な趣向かと・・・。

僕

僕は心が弱い

だからこそ出来る事がある

あいつは卑屈だと言う人がいる

だから僕は卑屈にくつくつくと笑う

満足だろう

僕にはプライドが無い

だからこそ出来る事がある

あいつは気持ち悪いと吹聴する人がいる

だから僕はロン毛でブリーチをかける

満足だろう

君達の仲間に入るには僕は

あまりにもすぐに折れそうな葦で

一段低い所から話し掛けるしかないんだ

逆に言えば

陛下は決してひざまづかず腰を折るように

人々に話し掛けるように

僕はあまりにも頭が悪くて

嘲笑の対象で

いつもいつも投げやりで

根性無しで

そんな僕だから人を傷つけないように

細心の注意を払っている・・・

なんてのはとんでもない嘘で

いつも一番にあがりたい

ニヤツと笑っているモノポリーおじさんなのさ

悪い奴ほど長生きするっていうからさ

色々やってきたけどさ

どうやら僕は自身の命にさえ責任を持てない

空回りの自転車

僕を傷つけて喜ぶ奴がいて

そいつを僕が憎んだとして

それは精神の正当防衛ではないのか

どうして弱い者は縮こまっていなくてはいけないのか

分からない輩がいるから日本から犯罪が無くならないのだろう

我慢して我慢してキレたとしても

それは三つ子の魂百までですと

許されるものではないけれど

今僕は人に向かって拳銃の引き金を引こうとしています

その前に消えたい

一気貫通の悦びと痛みで

涙を流す彼女

一夜の夢にしがみついても良い

それは誰にでもあることだから

僕にもある事だから

バイバイありがとうさようなら

酒乱Q やけっぱちじゃないけど

今言わなきゃ何時言うんだい？

僕が消えて無くなる前に

遺言と言つものを残しておきたいじゃないか
それがたとえ後世に残らなくても

戒名は怒助平非官能矛盾太子と名付けてくれ

ふざけきつた戦士に天使が舞い降りてきて
地獄へと突き落とした

最後に見たのは白い羽の赤ん坊のアカンベ―

LAST KISS (前書き)

タイトルはカッコ良いけど中身はがらんどつです！。
今日作りましたので新鮮だよ！。

LAST KISS

夜景の見える高層ビル最上階のレストラン
二人黙って料理に舌鼓を打つ

君がA5ランクの牛ステーキに手を伸ばした時
ナイフとフォークがカチンと音を立てた

別れて欲しいんだ

沈黙が支配する 額に汗をかいている
君を傷つけてしまう事 知ってるから
もう3年の付き合い 結婚話さえ匂わせていた

他に好きな人が出来た

君はシャンパングラスを手にとって一気に飲み干した

私はまだ貴方の事好きよ。でもどうしてかしらね 涙が出ないの

ゴメン

謝らないで 惨めになるから

2人はいつも一緒だった 寝る時も食事する時も

思い出って重いわね いざ別れるとなると

全部捨てればいいさ そんな乱暴な言葉をギリギリの所で揉み消した

美味しい店ね　新しい彼女と来ればいいじゃない

そう言った後君は関を切ったように泣き出したね

ハンカチを持っていたけど生半可な同情で差し出すのが躊躇われた

いつか僕よりステキな人が現れるよ

君はその言葉を聞いて　忘れられるかしらと呟いた

忘れて欲しい　重荷を背負いたくない　男ってずるい

ねえ立って　窓際に毅然と立つ彼女

こっち来て　貴方との最後の思い出作りたいから

夜景がホントに綺麗・・・　ねえ私たち愛し合ったよね

孤独じゃなかったよね　君の肩を抱きしめる事も出来ず

彼女は一筋の涙を残して　ねえお別れのキスをしましよと言った

忘れられるかい？　そう聞く僕に　忘れられる訳無いよ

貴方との日々が楽しかったから　頼もしかったから

貴方からアプローチかけて来たんだから一瞬でいい夢を見させて・・・

LAST KISS LAST KISS 君は何時でも芳しい匂
いがした

勝手だな僕は 君をホントに好きならこんなおぼろげな幻を君に見
せたくないよ

思い詰めた顔しないで 笑顔見せて 私幸せだったよ 貴方が好き
でした

最後の距離を埋める花の園で再び貴方に出会えたら
またキスしてね バイバイ

僕は自信が無いよ これで良かったのかな 君が新しい彼氏出来た
なら僕に見せ付けておくれよ 君との最後のキスは甘いチョコレ
ーだった

恋をする事 いつか別れる運命でも後悔しないよ したくないよ
私歩き出すの

貴方の事きれいさっぱり忘れる日まで

二日酔いの朝には（前書き）

これから1週間くらいボツだった作品投稿しますんで。
つまるかつまらんかは読者次第・・・。

二日酔いの朝には

二日酔いの朝には
誰か側にいて欲しい

ペコペコのお腹
ベーコンエッグとコンソメスープ
トーストにサラダを所望

だって僕一人ぽっちなんだもの
痛い頭を抱えて焼け付く息を吐き出す
昨日の職場の同僚は僕が1番苦手な奴で
飲まなきゃやってられない

楽しい事見つけれなくて
会社と家の往復でたまに自棄酒して
寂しくてこんな気持ちになるなんて
どうかしてる

二日酔いの朝には
誰か側にいて欲しい

炊き立てのご飯に味噌汁
焼き魚に漬け物を所望

だって僕一人ぽっちなんだもの
全部全部僕一人でやらなきゃならない
洗濯 掃除 行ってきますに返事は無い

プシュー 仕事終わりにはビールじゃなく
発泡酒で裂きイカなんかをつまみにTVを見る

屁をこいたって誰も咎める人もいない

段々鈍くなっていく自分自身が許せなくて
脳みそが段々からんころんと音立て目眩

夜のベランダに出れば都会の夜景

田舎で稲刈りにでも精出していれば良かったのかな

寂しいよ 寂しいよ 人生これからって希望？辛抱？
そんな言葉慰めにもならないよ 涙無くす目

いつまでも続くルーティン ファイティン
自分次第のシューティン グー

古くさ！女子会が流行さ 男が泣かされる

余り物と言えはしっくり来るサーティン
若かりし頃は湘南でサーフィン
今は不足しがちなエンドルフィン

痛い 痛い リフレクソロジー
胃と腸と目が悪いようですね
信じてないよ 東洋医学

昨日冷やし中華2皿食ったからだろ

そもそもリフレって東洋医学なの？
カイロプラクティックも分かんない

お姉ちゃんがたくさんいるキャバレー

オカマちゃんだからシリコンバレー

バレバレのバレエボール

下にはゴールデンボール

掘るな 掘るな そこにはお前の財宝は無いよ

父の遺骨 母の遺骨 先祖代々の約束

「酒は飲んでも飲まれるな 女に惚れられても惚れるな」

でも1番大好きなあの子に伝えたい 大好きですと

心から溢れ出しそうなホントの気持ち 大好きですと

一人ぼっちは 一人ぼっちは もう嫌だ

LOVE? (前書き)

予定変更でこれも新作。

1日1個が目標! って出来るわけ無いじゃん。

ギリギリのタイトロップよ。アクセス伸びろー!

LOVE?

愛しているとか愛してないとかどうでもよくね？

少なくともオラにはわからんよ

天秤にかければ答えが出るかも知らんけど

月に向かって「大好きや！」って叫ぶ方がカッコ良い

好きだの嫌いだの恥ずかしくね？だからお月様に叫ぶんだけど

どっちでもないよって答えてくれるニュートラルな人の瞳！

変な色気だして良い服着たり化粧したり自分磨きに一生懸命なおな
ごに

なあ。オラの農園で働かねえべか？ってもし言ったら言葉のレイプ
なのかね

ドツポにはまっちゃもうよ 顔ばっか見てるせいだがね 女は愛嬌っ
て婆ちゃん

いつもオラに言っとったべさ

愛の形 色々やね 分からない事は分かりませんって

正直に聞けば後で恥かかんで済むんよ

あんた正直だー。惚れちまったわっていう娘がきつとおるがな

ほらほら2人でフリーフォールさ乗って固く手を結べば

吊り橋効果でFall in Loveよ

愛だの恋だの 経験ないからさっぱりわからねえ

透き通った瞳の少女に見つめられて頬が赤く染まる

それだけじゃ男に付いてる放水ホースの意味無くね？

LOVE?

難しいから良いのよ

みんなが歌うから余計意味不明になるべ
やってくればいいさ 誰も見てない所なら
罪を犯してもあつはつはで済むんでね?

LOVE?

難しいから良いのよ

みんなが歌うから余計所在不明になるべ
探しにいけいいさ 誰も見てない所なら
罪を犯しても秘密にしてくんなで済むんでね?

まずは部屋から飛び出しんしゃい

しこたま汗かいて働いてからの話だが

全知全能（前書き）

いやー今日も目が合った小学生がペコッってお辞儀するんだよねー。
顔に何か付いてる？整形してるのバレてんのかな？

これは旧作なので期待しないで下さい。読みたくなかったら回れ右
ー！

全知全能

僕の頭はパンクした

治る見込みは無いらしい

宇宙とリンクする知能

誰しもがビッグバンから生まれた

だから不思議な事じゃない

神を描く 人は何かに寄りかかって

初めて自分とは何かを知る事が出来る

神は鏡なんだ 自分とは何故生まれたのか
考えるだけ馬鹿らしい事なのさ

絶対的ライフメーカー 全ては事前決定事項

自然界の前では

地球に立っている

それだけで誇らしくありがたいと思え

僕の頭はパンクしたが容器から溢れ出す知識は

数十年の重みを持つものだからほとんど奪って頂きたい

まあ元々大して勉強してた訳じゃないから

薄っぺらいフィルムみたいに透け透けなんだけど

僕は神だと言ったら人々は遂にご乱心か

良い人だったけどなあと言うかもしれない

でも八百万の神という言葉があるし

トイレにも神がいるらしいよ 臭いのに

ご苦労様

何も知らない事 それを無垢とか白痴とか言うと

人はカッコ付けるな 阿呆がと言う

パソコンの画面の中では

もう核爆弾を準備しているかのように
無敵な影が人を貶めている

僕は心臓がギューツてなる

ああ、この人こんなに苛められてカワイイ
反論もしないで雑魚どもの泳ぐ大海を
くじらの様にゆったりと回遊しているのだ

僕は人から嘔吐きだと言われているが
嘘はついた事が無い

それが嘘なんだね 大変参考になりました

もう僕は言葉を持たない 意志も無い

心臓がギューツてなるっていうのも嘘

ホントは自分の事だけ心配してドキドキ

時々近所の犬に挨拶 帽子を軽くかざして会釈

不思議なんだ はい？そうです。神と宇宙の話です

え、死んだら無になるのですか それは知りませんでした

じゃあ明日坊主を殴ってきます

キリストを殺したのも実は僕なんです

お前が殺したのは無抵抗な善人だ

警察署の取調室で「それが何か？」

何だったんだろう 衝動的な反逆

不思議なんだ 宇宙の事ばかり考えていたから

神様に聞かなくても僕は地獄行きだ

子供が僕の顔を見て何故か挨拶する

そんな事が続いてそれだけの偶然で万能を感じちゃったんだ

C r u s h (前書き)

どの子も出し辛いんですね。ブサイクで・・・。

C r u s h

壊れてゆく 壊れてゆく
夢とリアルの世界が
寝起き気だるくセブンスター
ふかせば

ついて来る ついて来る
見ず知らずのモンスター
遠くセルシオのアクセル
ふかせば

僕は月を見上げる
丸いその金色の光は
何故かセピア色の
思い出を映し出す

変わってしまった僕の面は
元には戻せない
君と写した写真が踊りだす
深夜2時30分

辛いかい？つてもう一人の僕が囁く
夜がこんなに長いものだと
一杯のコーヒーで
嘆く嘆く七色の涙

消滅してく 消滅してく
僕の記憶が

とんちんかな
謎かけの力ギで

混乱してく 混乱してく
シャッフルされた
ジョーカーの居場所に
恐れ慄いてく

僕は太陽を見上げる
燃え盛るプロミネンスとコロナは
もう全てを燃やし尽くして
不気味に微笑んでる

変わってしまった僕のいろは
天と地が交わる水平線の色
君と写した写真が踊りだす
深夜2時30分

苦しい？そう聞く悪魔は
幻視と原子の二重構造
窓枠に腰掛けてまどろみを邪魔する
アコースティックギター

夜がこんなに長いものだとは
夜がこんなに長いものだとは
昨日君と交わした接吻よりも
苦しめる 狂う渚のCRAZY LOVE

Crush Crush Crush Crush
I scream breaking.

C r u s h C r u s h C r u s h C r u s h
I s c r e a m c r a c k i n g .

辛いかい？つてもう一人の僕が囁く

夜がこんなに長いものだとは

一筋の涙で

光る光る七色のホタル

C r u s h (後書き)

2 3 点くらい？意味わかんねえもん。

チャンス！（前書き）

こいつも新作ですが・・・

ケツコーきつくなってきましたね（汗）

何しろ読書をしない（っ）か嫌い。詩集も流し読み）ので。

チャンス！

二次会の帰り道「もう一軒行くか！」と騒いでる仲間達

僕らゲーセンの前でスケボ-で遊んでる中坊にもう帰りなさいと叱る
何時の間にかはぐれてしまつて2人きりになつた2人

Make Love?

Do you want to know me?

ハードパンチャーなスタンスでダンスをしましょう

顔が赤く染まるよ

ぶっ飛び Rolling

チャンス！酔つた弾みで

立ち寄つた公園の茂みで

あれは代々木公園と言つたかな

いや僕何も知らないよ ただね

ハガネの女なら寂しくないかい

ハメを外してみようよ

誰も見てないから

だつて恋人達は夢中でブチユ-

君と踊れるならとおどけて見せたら

弾けてしまつたふしだら

妄想で良いよ もうそうやって将来を予想するのはよそう

松ぼっくり コロコロ ふぐりを探り コオロギがリンリン

良い匂いだ。首筋に舌を這わせる。後ろからブラを外す

銀玉 金玉 パチンコ玉がヘソに入り好機と告げる 大当たり

出来婚 ほら 単純な事なんだよ 恋とか愛とかいらぬ

サイボーグ製作工場の誕生の心情は誰が反対しても「したいしたい」
額に汗

固いですよ お義父さん ほらポキッと折れた

トントン拍子に話が進む

逃がしたくないチャンス！

待つてましたとえさに喰い付く魚

釣り上げてEating Goo

チャンス！（後書き）

どうなんすかね・・・これ。

徒然なるままに（前書き）

書いてる途中に送迎の人来た・・・。
つまり新作。

徒然なるままに

徒然なるままに日暮

太陽が照らし shadow 伸びゆく

沈み心のポツカリ開いた虚しさというダクト

今日も埋められないままに

待つてるだけじゃ始まらないけど

僕は人見知りの shy boy

家でお茶を啜る 外には出ない

だから友達はいない いるけど見えない

不思議なものだけどそう書くしかないのよね

大好きな女の子がいてさ

じっとその瞳、動きを見つめていると

何よって言われてツンドラ気候並みのツンデレ

嫌になっちゃうわよ 僕無気力ですから 剣 剣 剣

ワーカーホリックの家に帰らない家族を顧みない人

どしたの？死んだ魚の目だよ

歳を取るのって難しいって言えば難しいけど

一日中ゲームでもしてれば良いんじゃないかな

僕は病気だから何時でも誰かに見られてる様な気がして
そうするんだけどね

どうしたら寂しさを忘れられるのか

ああ、嫌だ沈黙 僕はいつも静かに笑っているけど
誰も話しかけてきてくれないし

話しかけてもすぐに終わっちゃう

泣いたり 泣いたり 泣いたりしてさ
そしたらいつか体中の水分が無くなって
それが老化の原因なんじゃないかって
突拍子も無い事を考えてる

馬鹿だから 仕方ないよ
今更後戻り出来ないから徒然なるままに日暮
最近はミルクティーと梅昆布茶にはまってる
落ち着くよ 君もどう？

ギアはいつもニュートラさ
そんな感じでも一人くらいはお前の事好きだよ
言ってくれる人いるから
永遠なんてないけど憧れるんだよね
悠久と何が違うのかyouにQしたいよ

徒然なるままに（後書き）

誰も見てない詩。うーん存在意義あるのかね。

J u s t o n e (前書き)

むー？

Just one

あー真っ白な日々に

追い抜かれて逃げ切られて

Just one

大切な物一つだけ手に入れば

僕は他に何も要らない

がらんどうの金庫が眠る

図々しいほど眠り続ける僕

起きたら夕陽が上がっている

この古ぼけた家の埃が舞い上がっていて
ダイヤモンドダストみたいで綺麗

寝ぼけて全く知らない人に電話をかける
相手は「どちら様ですか？」と聞くので
日頃思ってるように神ですと答える

あー真っ白な日々に

追い抜かれて逃げ切られて

Just one

大切な物一つだけ手に入れば

僕は他に何も要らない

賞味期限が切れたガリガリ君が
冷凍庫に眠ってる

Just one Just one

名誉、地位、金、女どれも無い

好きな人に大声で大好きですって言える勇気が欲しい

ただ一つだけの地球を守るべき理由がある
僕達の宇宙船 生命が宿るこの星
後幾億年続くだろう 愛する人と永遠に
そんな願いが叶うように

あー真っ白な日々に
追い抜かれて逃げ切られて
あつという間に過ぎ去っていく1week

どんどん老いてく 自覚も無いままに
僕の命はどんでん返しても起きない限り
無意味 いや生きている事が素晴らしいのかも知れないが

いずれ死ぬと分かっているでも産み落とされる小さな命
でも長い旅の間に産んでくれた事に感謝出来る日々が来るかもしれ
ない

来ないかも知れない 一生親を恨み続ける事になるかもしれない

Just one 人形に入り込んだ魂 それが僕らさ
綻べば糸を縫い合わせるだけでいい
永久なんてないけど Just one 大事にしたい
太陽のように光輝きたい ささやかな願い
たった一度のストーリー 夢叶いますように

短い時間 瞬間のトキメキ 何時になっても
何処に行っても僕は僕 存在が消えるまで
Just one 抱きしめて悔い無き人生を歩もう

J u s t o n e (後書き)

あんまり意味わかんない・・・。
てきとーに作った。

屁理屈（前書き）

男でも女でも暗い人ってあんまり好かれないよね。一緒にいると疲れる事、疲れる事……。まだ気の狂った人がイミフな方がマシ。

詩でも書いたけどさ。（これツイッターで呟こうと思ったんだけどね。）

屁理屈

君が悲しい時悲しい歌を聴くのは止めよう
人は独りだからなんて言うミュージシャン
朝の5時まで友達と飲んでる

君が貧困に苦しむ時お金の事を考えるのは止めよう
腹が減って仕方が無かったらプライドを売るんだ
金は手に入らないが捨てられた弁当が手に入る

僕は君が好きだ
だから真実の言葉だけを伝えたい
今君が孤独に打ち震えている時
声をかけてくれない人間は偽物だ

ただ処世術に長けた嘔吐きなキツネ
そんな奴らが生き残るこんな空つ風の吹く世の中で
独りの君が腹を空かせた君がまず助けを求めるべきなのは
何の役にも立たない霞なんだ

君が立ちすくんでる場所 そこはかつて英雄が立っていた場所
君が座り込んでる場所 そこはかつてスポットライトの当たっていた場所

さあ行くんだ 君は今選択を選択した
その選択が宣託ならば僕らはきつと神に愛される資格を持つ者
捨て去れマイナス要素
飛び込むプラス思考

鬱々と現を抜かしていた日々はひび割れ
素敵な夢が現実となる

さあ剣を取れ 僕ら脅迫するわけでは無く恐怖する事も無く
ただひたすら正義という一円にもならない大層な思想に
身を委ね石橋を叩くトンカチの代わりに欄干をふらつきながら
ひょうたんに酒を注ぎ続けましょう

きつとそんなのが長々説明しましたが独りじゃないって事なのです

金子みずずのパクリ（最後だけ）（前書き）

音読すると楽しいかもよ。つまんなかったらごめんね。

金子みすずのパクリ（最後だけ）

浅はかさは逆さまの坂さ

誤解と後悔の積み重なって出来た地層

君はそれを旨そうに食べる猛獣

猛禽類も最期は菌類に浸食されたとしたら
エデンには行けない儚い死体

赤坂サカスの坂をだいぶ下がった所にある
酒屋や魚屋はいささか

景気下がり気味でトレンドとは程遠く
代わりにフレンチレストラン等が繁盛

少々お洒落過ぎやしないか？

チャルメラや竿竹売りは何処に行ったのだ
まるで元から無かったかのように

昼寝の途中 音符が風と共に
雨を連れてくる

限度があるさ 必ず さあ買いに行こう

Summer rainの中 傘も差さずトマトとキュウリを

サラダをサラサラにするのは血液

もとい血液をサラサラにするのがサラダ

皿に盛ったら朝から瀟洒なレストランで
だもん だもんと子供がダダをこねるから

だっ たらジユウスにしちやえばいいじゃんねえ

早く学校に行きなさい 際して息子は屁で返事
こだまでしょうかね

浅はかさは逆さまの坂さ

浅はかさは逆さまの坂さ

こだまというより早口言葉

言霊の籠った悲喜交々の新幹線

こだまでしょうかね？

破滅アダルトビデオ（前書き）

カッコつけてるけどエロ関係のアイテムにいくら金使ってるか・・・。
とは言う物のギャンブル関係の借金が多いんだけど。いくらかは聞かないでくれ。

破滅アダルトビデオ

嫌われる

調子に乗れ

全部捨てろ

言うならば現実には悪夢と同じ

ぶっ飛んだクスリをキメル

メルヘンはウマウマ

逃亡 極道 は、笑わせんな

今日も眠れないし

その方が建設的な採決

どうしてって人生短いからさ

ああ、歌って あん あん気持ちいい

よがるのもわかるよ 非対面的プロオナニスト

聞こえないよ レスpons

レスポール奏でて 金が出ていく

ああ、弾いて がん がん白き魂

藁にもすがりたいが 植物にワラワラ群がる虫みたいだぜ

黙ってる

上げ足取られる

I a m

I a m

何でもない 何者でもない

名無しのAV男優

S h e i s

S h e i s

何でもない 何者でもない

名無しのAV女優

キツクキツク締め上げて

涎液でテカテカ光るロケットバイブ

大人の写生会

彼女は言った

欲しいの 何が？

彼女は言った

頂戴 何を？

金と引き換えに失った一般常識

もう戻れない通行止めの道路標識

泥水のように金が汚い金が入ってくる

じゃんじゃん頼みもしないのに入ってくる

でもねピークを過ぎちゃったらどうするの

賞味期限ありの職業

全国に配信した背信行為 消せないから

自分で見えるのかい 笑いながら

君の未来のビジョンは見えない
水晶は濁ってひび割れているから

撮られ続ければいいさ

あられも無い淫らな姿

羞恥心なんて忘れてしまったんだろう？

何処かで拾えればいいけど君には退路はないよ

消費されていく 漂白剤のように

君の明日はおそらく真っ白な灰だ

狂い（前書き）

連発で送り込まれる狂気の言葉達。
貴方は耐えられますか？

狂い

狂ってる

そういう君の眼は

もう僕を見ていない

僕は今まで自分が正しいと信じ込んでいた
自分の正義を貫く　それが悪だとしても

はいはい漫画のコードブレイカーの話でしょ
はいは一回でよろしい

君と別れて寂しさを感じない僕はガンダム
エヴァには心がある　アルエ名曲だよね
レイは零　最後の幻想

もうお前はサブカルの虜さ
厨二病ってキモいけど
メンヘル予備軍隊にならないように褒めて褒めてー

これは3×3 EYESのパイの名言か

ベルダンディーは現在でウルドは過去スクルドは未来

僕はスクルド萌え

でも額に何か付いていればいいのなら
千昌夫でもいいんじゃない？（笑）

何だか苦しそうな顔してさ

でも嫌いになれない苦しさも理解してよ

家族が死んでも涙が出ないのは

喪失感が大きすぎるからって言い訳でもしてな

僕もカウントダウン　ダウンーかわしてSADS

ほとんど騒音だよね　忘却の空で泣いたな

愛的夢幻って知ってる？

あの2人は青山学院大学卒だったか

全部知ったかぶりだろ

意気地なしのくせにさ

古のイニシエーション試してみるかい？

狂ってる

そういう君の眼は

もう僕を見ていない

愛して欲しい　それがそもその間違いの

@　ザ　バスストップ　ストラップが千切れ便所に落ちた

別れ際君は笑いながら泣いていた

ダイヤモンド（前書き）

早く初音ミク欲しい・・・。

ダイヤモンド

L o v i n ' y o u

君は輝くダイヤモンド

L o v i n ' y o u

君は素敵な s e x y m o d e

雨上がりの水たまり

長靴で跳ね上げて

無邪気な君は

子供みたい

光る青空に虹をかけて

あの雲の上まで行こう

きつと違う風が吹くから

君に出会った事

君を好きになった事

運命ならば

占いなんて気にも留めないで

鏡に映る僕ら

おそろいの歯ブラシ

2人で見つけた

この時 この瞬間 夢じゃない

L o v i n ' y o u

君は輝くダイヤモンド

L o v i n ' y o u

君は素敵な s e x y m o d e

ずっと会いたくて

君に会いたくて

赤い糸で結ばれていた 昔から

今約束を契って

2人いつまでも

笑顔だったら

2人どこまでも

歩いていけたら

荒野さえ突き抜けて

緑と赤の夢畑で

寝転び口笛でも吹こう

L a L a L a L o v i n ' y o u

L a L a L a L o v i n ' y o u

Y o u s i n g m y f a v o r i t e s o n g

I s i n g y o u r f a v o r i t e s o n g

L a L a L a L a L a L a

いつまでも輝いて欲しいよ

星の夜に見つけた僕のダイヤモンド

さよならloneliness（前書き）

うん、たまにかぶるんだよね。J-POPばかり聞いているからZARDのGood by my lonelinessと意味は同じだね。

さよならloneliness

フーワ フーワ

たゆたう 海の如く 雲の如く

一本の樹は立ち尽くす

風にフーワ フーワ

揺れながら

僕は思うよ

孤独さん さようなら

太陽が答えを導く朝

誰もいないけれど

他に何も無いけれど

つまりloneliness

but shelve my sadness .

抱えたloneliness

but shelve my sadness .

だから僕は歌うよ

小鳥のさえずりはまるで

アンダンテ マ・ノン・トロツポ

散歩の途中見つけた

希望の羽の欠片

どこまでもフーワ フーワ

思考の行く末はフーワ フーワ

素敵な風が吹いて
君のカールされた髪がなびく

七色に光る

僕は手を伸ばす

黒く色を変える

それが定めでも

僕らは

手を繋いでいこう

丸い輪になって

夜空の星々の様に

輝けるのなら

一本の樹が立ち尽くす

それらが連なつて森を為すように

僕ら人間にも

自然と丸い輪っかが出来て

最後のピースは

他でもない僕と君で埋めたいな

そんな事思う

気付いたから 君の存在に

だから答えをおくれよ

フーワ フーワ 夢の中

繋がったネットワークに

身を委ねたら何時からだろうね

一人じゃないって思えたから

フーワ フーワ
何時からだろうね
フーワ フーワ

さよならloneliness（後書き）

まあまあ出来は良いと思うね。曲付けたらどうなるかまだ未知数だけれど。

強きEye（前書き）

僕って目力ぜんぜんないんですよね・・・。

強きE y e

君の瞳 透き通った空色
何を見つめているの？

真っ直ぐな視線は
矢のように僕のハートを射抜く

強きE y e 強きE y e
千匹の蛇に睨まれてS t o n e

意志を感じる
けしてぶれないその力

強き愛 強き愛
ママに抱かれているような温もり

全部見せてよ
その心の中のドロドロも
知りたいんだ 君の事

欠伸しないで 話聞いてよ
言ってるじゃないか

憧れ 黄昏に不安がるP u r e L o v e

何を見つめているの？
僕が君のE y e乗っ取れるなら
もしかしたら分かるのかな

M y e y e s いつも君を見つめてる
M y e y e s いつも君を探してる

君が欲しい物全て与えたい
価が無いとしたらゴメンよ
だって君は何時だって前を向いているから

僕もいつかなれるかな
君のように

自分の事は嫌いなだけで
そうね変身願望
君と繋がれたら
僕も自分を愛せるかな

なんて期待している w o n d e r w o n d e r

I j u s t n e e d y o u .
その瞳に僕を映してよ
何か探してるんだろ
僕で良ければなんて
恥ずかしくて言えない

でも I j u s t n e e d y o u .

真っ直ぐな E y e s ロックオンしたら
合図してよね その瞳大好きだから

星と話せたら（前書き）

。なんで俺は二物も与えられるどころか一つも取り柄がないのか・・・

星と話せたら

貴方を包む星々が
もし「もしもし？」

と話しかけてきたら

君はよしよしと星をなだめられるだろうか

How to say?

わからないよ

いつの間に生まれたのか

ただ言える事は貴方よりも

ガタガタな星もあるし

ピカピカな星もあるという事

僕らそつと星を見上げる時

優しいその金色は

赤い太陽に生命を頂いた

蒼い魂だつて事 OH! BLUE SOUL

How to say?

わからないよ

いつの間に消えたのか

夜空の見えるこの山頂は
時折心地良い風が吹いて
君は「少し寒いと言う。」

そんな君が愛おしくて

強く抱きしめる

暖かいだろ？

月と星と闇の祝福

明け方に君に貸した制服

きつと君も気付いているんだろ？

こんな時間長くは続かないって

でもね、でもねあの星が見えなくなっても

存在しているように僕たちの愛だって

見えないだけで案外脆くはないのさ

君はただ信じればいい

君はただ信じればいい

How to say it as a star?

ハグるぜい 明日が来た

ネガティブとポジティブ（前書き）

曲が作れそうで作れないのです・・・。

ネガティブとポジティブ

ネガティブとポジティブ

君ならどちらを選ぶ？

いい子でいたいのなら少し根暗もいいかもね

難しい問題だよ 躁さ 鬱くしく生きる為

人の揚げ足取って喜んでる奴らは
馬鹿な輩だから気にせず前向こう

ネガティブとポジティブ

君ならどちらを選ぶ？

いい子でいたいのなら少し根暗もいいかもね

難しい問題だよ 悩みのなみなみ注がれたコップ
叩き割るのはまだ早い

いつか活火山の様に噴火して人を傷つけてしまったり
相手の間違いを怒やし貶めたりしたくないんだ

なんのかんの言っても結局人間一人なんだけど
だからこそ寄り添った時気持ち良い

もう充分だろ 何の不満も不安も無しさ
僕ら生きてるだけでいいさ 青い 青い空

涙乾くまで側に居るよ 気持ち伝えるケータイで
痛い事ばかりでも感じてよ

遠く離れてしまったけど僕ら友人だった

ネガティブとポジティブ

君ならどちらを選ぶ？

いい子でいたいのなら少し根暗もいいかもね

人気が欲しいなら強く輝けばいいよね
どっちもありだよ

Freedom (前書き)

うーん、うーん・・・（う。こ踏ん張ってる訳じゃないですよ。）
何か違うんだよな。なんか何作品書いても金太郎飴のような切り口。
のっぺらぼうのような言葉使い等脱却出来ないのが不満で・・・。

音つければ違うのかなー。もう33だし大それた夢を追いかける歳
ではないけど自分で自分の作品に納得いかないのは悲しい・・・。

F r e e d o m

F r e e d o m 謳歌しませんか
咲き誇る 桜花のように

見つけづらいのよ 大事な物は
それに気付かず通り過ぎてきた日々

僕らいつかそんな事も忘れてしまっただね
大嫌いだっただ大人になってしまっただね

C a n y o u s t o p ?
脱落する恐怖と恍惚を
抱きしめて

きつとみんなが目指してるNO・1
天界への扉を手探りで探すのは
悪い事かい？

C a n y o u r u n ?
苦しくても止めないで
貴方の行く道を未来の子供達が
なぞるから

翼を手に入れて
まだ誰も到達してない域へ
人間の息のかかった人間
それが希望や夢になる 変化

さあ深呼吸して

寂しさに力ギをかけて

手を繋ごう　そして

大空を飛び交う

まるで鳥の様に

F r e e d o m　謳歌しませんか

咲き誇る　桜花のように

ほら目の前に落っこちているよ

散った花びらをそっとポケットに忍ばせ

新たな世界へ　F r e e d o m

つないでTelephone (前書き)

お前なんか、お前なんか、ケータイも持っていないくせに~~~~~
~~~~~。

ネタ切れです。しばらく書けないかもです。(T T)

## つないでTelephone

今日嫌な事があつた  
だから明日が来なければ良い  
そう思つた

でも夜は長すぎて  
息が続かない  
苦しいよ 切ないよ

いつもの様にお日様が昇つて  
天気が良かったものだから  
益々憂鬱で

だから決めたんだ  
今日もし嫌な1日だったら  
夜中君に電話してみようつて

でね、実は意外な事に良い1日で  
だから拍子抜けしたけど  
何故か寝付けないから  
君に電話したのさ

今日良い事があつたんだ  
君はどうだつた？

他愛の無い会話でも中々途切れないもので  
夢中になってケータイ持ったまま寝ちゃつたの  
ああ、明日も良い1日だったらなあつて  
お月様見て思いながら

君の機嫌次第でころころ変わる天気  
いつまでたってもびっくりするような好機はないけど  
こんな日々が続く事に押し潰されないように  
繋いでよTelephone

君と僕を繋ぐ電話回線はホットライン  
眠気眼でバイバイ

また電話するよ  
友達以上恋人未満の君へ

君の機嫌次第でころころ変わる元気  
いつまでたってもびっくりするような転機はないけど  
こんな日々が続く事に押し潰されないように  
繋いでよTelephone

Long night and Lucky day  
Long night and Lucky day  
Yeah

## FIGHT CRY (前書き)

結構良い出来ではないでしょうか。  
自分で自分は判断できないです。  
だから下手くそなのね・・・。

## FIGHT CRY

いつものように眠れなくて一人泣いていたんだろ

鋼鉄のボディに折れない心持っている君も

裏では寂しがり屋のレディ

キティちゃんのぬいぐるみ 薄汚れてはいないかい？

君が毎日抱きしめて眠るから彼女も憂鬱さ

弾け飛べ 弾け飛べ 龍の咆哮みたいに

戦い叫べ

だって君を救うべきなのは他でもない君なんだよ  
信じられないけどもう午前4時

ケータイの充電池終焉

いつものように眠れなくて一人泣いていたんだろ

側にいてあげたいけど君のパパとママが怒るから

僕たち一体何処に向かうのかな

君が心碎くのは他でもない君の未来

けどそんなもの捨てちまっても構わない

君を憂鬱にしているのは叶わない夢だよ

心配要らないさ なるようになるだけ

食らいつけ 食らいつけ 絡みつく蛇の様に  
戦い叫べ

だって君を救うべきなのは他でもない君なんだよ  
信じられないけどもう午前4時

ケータイの充電池終焉

明日学校で会おうよ

束の間 眠りなさい

そしてGOOD MORNING

目の下のくまには触れないから

笑顔でFIGHT FIGHT EVERY DAY

欲しい?欲しくない?欲しい?欲しくない?

よけいなお世話だろ 君が好きなんだBABY

君は気付かない振りしてるけど

このボーダーライン越えたいよ

君のいる場所が国境の向こうでも  
流した涙は無駄にはならないから

君の 君の 名前 大好き

君の 君の 姿 大好き

だよ だよ だよ

束の間 眠りなさい

そしてGOOD MORNING

願わくば笑ってください

FIGHT

CRY

EVERYDAY

## 恋心（前書き）

精神的に疲れている時、好きな女性の顔を思い出す。

## 恋心

忘れていくの 全部 全部

子供の頃 夕暮れまで遊んだね

今は飲み友達の中の一人

将来結婚しようねって指きりした

幼稚園の重組みの隅っこ

今は忙しすぎてメールも行き違い

君の事 僕は一体どう思ってるのか

答えも出せないまま 過ぎ去っていくDAYS

夜眠れなくて 会社休みたいよ

全然構ってくれない君は

素っ気無い化粧で男には見向きもせず

B A B Y I L I K E Y O U

進化する恋心に力ギもかけられず

君を見つめるけど

パソコンのモニターのチカチカが

僕を急かす

離れた恋心 近付く恋心

複雑な万華鏡

美しく僕の中で咲き乱れるけど

言いたい事は

B A B Y I L I K E Y O U

進化する恋心にカギもかけられず  
君を見つめるけど  
パソコンのモニターのチカチカが  
僕を急かす

いつか変わるかな でも君に会いたい  
そんな単純な事も 気持ち薄れていく  
何故？ 全部忘れていくの？

将来結婚しようねって指きりした  
幼稚園の董組みの隅っこ  
それだけは色鮮やかに僕の頭の中  
ぐるぐる回っているんだ

離れた恋心 近づく恋心  
複雑な万華鏡  
美しく僕の中で咲き乱れるけど  
忘れたくないよ

LIKEがLOVEに変わるまで

I · c e L i f e (前書き)

ごめん。てきとーに作った。

## I ' c e L i f e

開きかけた蕾にそつと触れたら

a s h 腐った塩水

キス スキ キス スキ 止まらない

一生でほんの僅かなBlue Spring Days

君の性癖を知ったNight

燃える心は楊枝で開けたピアスの穴みたいに  
ジユクジユク濃んで消えない

ブシューブシュー心臓にナイフを突き刺す

シミュレーションしているブス

救ってやれないこともない

ひのきの棒かナスビでVirgin Virgin Virgin

マリリンがリンリン鳴るベルにベルベツトルムで

照明落としてお喋り

金の宝箱だね Like a Virgin

I ' c e L i f e 冷たいキス

I ' c e L i f e 冷たい愛撫

君に 君に

開きかけた蕾にそつと触れたら

a s h 腐った塩水

花びらが開いたら君に告げるよ チェリー  
花びらが散ったら君に伝えるよ シェリー

ICE LIKE ICE LIKE

二月の風

## 無敵ンゲ（前書き）

これ音付けれるかな・・・。ミクもルカも使い方よく分からないけど  
まず買わない事には、ねえ？

## 無敵ンゲ

ヘッドフォンして街に繰り出す  
視界に映る人々は何処かせわしない  
晴れた空 公園の噴水の側で  
軽く涼む

青春つて一瞬  
舞い散る 風に吹かれて飛ぶ  
花々は気まぐれで  
美しく気高い

メガネからコンタクトに変えた  
高1の春 いまだ独り身

高2の冬 ラブレターを貰った  
猛吹雪の日でバスは大幅に遅れていた  
車内は学生で込み合う 北では見慣れた景色  
南風のような暖房 近くに吊革に掴まって  
揺れている女の子がいた

その娘は胸ポケットから綺麗に折りたたまれた  
くしゃくしゃの手紙を僕にそつと渡した

少し手が触れ合って僕はK・O 即 OK  
恥ずかしかった ニキビ面の顔が  
更に真っ赤に染まっていたと思う

初デート遊園地の観覧車に乗ったね

こんな時キスするのかな やっぱり  
逡巡する純情 結局一周 何事も無く

高3の春 君にフラれた

桜 桜 桜 僕の転機 天気予報今日は雨

一瞬だったけど僕は無敵ングだった  
君のシンキング読みきれないまま  
別れちゃったけど

いい夢見せてくれた君にサンキュー

今は妻と2人の娘に囲まれて幸せな人生  
今でもヘッドフォンして時々街に繰り出す  
そして君を思い出すよ 凄く鮮明に  
あの時僕は確かに無敵ングだった

今でもそうだよ だって君と一緒になれたんだから  
いい夢見せてくれる君と娘に心からサンキュー

無敵ング 無敵ング これからもずっと  
いつか死ぬ日まで

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6552v/>

---

Grave of poetry(詩の墓)

2011年12月3日17時53分発行